

ウクライナ オデーサ市
ゲネディー・トゥルハノフ市長による演説概要
(2023年3月16日)

こんにちは。

横浜市会議長、横浜市長、横浜市議員の皆様、そして会場の皆様、このたびは、素晴らしく、ホスピタリティあふれる姉妹都市・横浜で皆様にお会いでき、大変光栄です。

2022年2月まで、オデーサは横浜によく似た雰囲気を持ち、活気にあふれ、幸せに満ちていました。街には子どもたちの笑い声があふれ、大人は将来について壮大な計画を立てていました。

しかし2月24日、最初のロシアのミサイルによって、私たちの生活は戦争の「前」と「後」に分断されました。占領者が我々の大地に、痛みと破壊をもたらしたのです。

私たちはパニックに陥る時間ありませんでした。(市会本会議場の)画面にて、オデーサが戦争初期にどのような様相であったか、御覧になることができます。内外から守られているお城のようでした。私たちは一丸となって占領者に立ち向かいました。

ウクライナ国歌の歌詞には、我が国の本質を定義する言葉があります。コサック民族の子孫—これは単なる言葉ではなく、私たちの歴史・本質です。

ウクライナ人は、心身ともに強靱な戦士です。どんな代償を払ってでも、土地を守り抜きます。自らの命を犠牲にしてでも。

ウクライナは数千キロもの領土がありますが、武士のプライドと高いモラルによって、私たちの国は常に団結してきました。

おそらくそれが、空手、合気道、柔道といった日本の武道がオデーサの青少年の間で非常に人気がある理由です。そして、これらの分野において、オデーサの選手は、権威ある大会で金メダルを獲得しています。

今、ウクライナはロシアの兵士と戦場で戦っています。ロシアが戦争をする時、そこには小さな子供がいます。女性がいます。住宅インフラを破壊し、何百万もの人々を危機的状況に追いやっています。敵は戦士のプライドを持っていないのです。

有名なことわざがありますー「困ったときの友こそ真の友」

真の友、日本の皆さんについてです。日本は侵略の初日に、緊急支援のため、ウクライナ閣僚会議に6,000万ドルを送ってくださったと承知しています。

オデーサについていえば、横浜とは58年の姉妹都市関係を継続しています。戦争によって私たちは新たな1ページを歩み始めました。それは非常に重要なオデーサとオデーサ市民に対する支援です。

私たちが皆様に心から感謝している幾つかのことについて、述べたいと思います。

まず、昨年3月、ここ横浜市会本会議場において、「ロシアによるウクライナへの侵略を非難するとともに、国際紛争における武力行使の根絶を求めること」について、本日お集まりいただいた議員の皆様の全員が賛同し、決議いただいたことに、私たちは大きな勇気をいただきました。

そして、横浜から33台の移動式浄水装置をいただきました。近隣のミコライウ市での経験から、ロケット攻撃で何千人もの人々が長期間、水を飲むことができなくなる危険性があることが分かったためです。

貴市から提供された浄水装置により、飲料水を手に入れることができました。（市会本会議場の）画面で分かるように、それらはすぐに活用され、人々の需要を満たしています。これらの装置のうち5つは、給水システムを含む甚大な被害に見舞われたミコライウ市に貸しています。

第2に、約2,000セットの防寒着をいただきました。

（市会本会議場の）画面にて、これらの服を着た従業員を御覧ください。

この冬は、この防寒服のおかげで従業員は寒い思いをせずに仕事をすることができました。温かいお気遣いに感謝申し上げます。

昨年、貴市は若い柔道選手を一時避難として受け入れてくださいました。選手たちは、横浜で生活している間、柔道のトレーニングも受けました。横浜市と横浜市柔道協会の皆様に心より感謝申し上げます。

また、いただいた財政支援にも感謝します。建設資材と国民の基本的な必需品のために、ウクライナ赤十字に37万ドルを送ってくださいました。

市長として、またオデーサ市民として、オデーサの歴史地区のユネスコ世界遺産登録に対する多大な御支援をいただいたことにも心から感謝いたします。本件がパリの審議会で検討されたとき、私には話す機会がありませんでした。特定の会議ルールがあるからです。しかし、世界のオデーサの親友が代弁してくれました。日本はそのうちの1人でした。我々は、オデーサを支持する日本代表の力強いスピーチに感銘を受けました。

日本は世界文化遺産登録にかけがえのない貢献をされました。1票のおかげで、オデーサがユネスコの世界遺産の地位を獲得するだけでなく、歴史のおよび建築的遺産の保護・保証も受けることができる決定的なものになりました。オデーサ市民一同、心より御礼申し上げます。

スピーチを締めくくるにあたり、このような支援と連帯が、私たちの一番の目標、「勝利」を引き寄せます。

そして今、文明世界全体がこの「勝利」を信じています。

友情に感謝し、平和なオデーサで皆様にお会いできることを楽しみにしています。

ウクライナに栄光あれ！

ありがとうございます。